

平成24年度 知的財産研修会

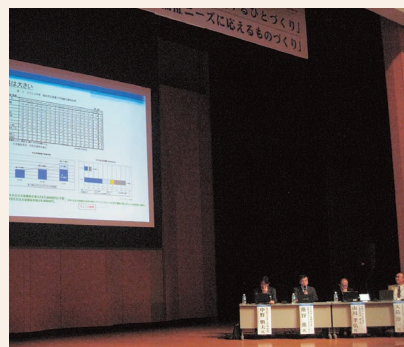
特許制度の基本的なしくみを理解するとともに、発明を的確に評価し、知的財産として活用するノウハウを身につけるため、今年も全3回に渡って下記のとおり知的財産研修会が県立大学で開催されました。参加された方からは「共同研究をするうえでどのようなことに留意すればよいか改めて確認出来た」「研究成果の活用方法について知ることが出来て良かった」などの声が聞かれました。

	日時	内容・講師
1	11月9日(金) 16:30～18:00	「大学と知的財産」 東京工業大学 産学連携推進本部 技術移転部門長 特任教授 関谷 哲雄氏
2	11月30日(金) 16:30～18:00	「大学の法人化における知的財産管理の在り方」 金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 産学官連携・知財推進グループリーダー 准教授 分部 博氏
3	12月10日(月) 16:30～18:00	「知財の活用を意識した研究開発戦略、知的財産戦略」 元キャノン(株)専務取締役 丸島 儀一氏



とやま産学官金交流会2012

平成24年11月14日(水)ウイングウイング高岡において、とやま産学官金交流会2012～産学官金連携が支えるとやまの“ものづくり”“ひとづくり”～をメインテーマで開催され、京都大学の松本紘総長が「今必要



なグローバル人材」と題してご講演されました。

また、パネルディスカッションでは県立大学の鳥山朋二教授が座長となり「多様化する介護・福祉ニーズに

応えるものづくり」をテーマに、社会の活力を再生しつつ、社会的要請に応じていくための課題や、産学官金、各分野の役割について意見交換を行いました。



ものづくり関連機関によるポスターセッション

県内の高等教育機関、公設試験研究機関、企業の技術シーズや産学官金連携による研究技術開発の成果などが展示され、出展者による発表が行われました。

